NTT Communications Corporation
CSR Report 2020
詳細版

CONTENTS

企業理念

トップコミットメント

企業情報

NTTコミュニケーションズのCSR

CSR基本方針
CSRマネジメント
NTTコミュニケーションズのバリューチェーン

社会への貢献

地球環境への貢献

人材の尊重

経営統治の継続的強化



# CSR基本方針

ICTを通じて社会課題の解決を目指すNTTコミュニケーションズグループにとって、社会に潜む多様なリスクを把握し、
その回避や軽減に努めることは、事業活動を展開していくうえで必要不可欠なことです。
私たちはさまざまなステークホルダーに支えられたICT企業の責任としてリスクに備える一方、
CSR基本方針に掲げた4つのCSR重点領域に注力していくことで、目指す社会を実現していきます。

## 多様なリスクと社会課題

- 気候変動緩和・適応の失敗
- 大規模な自然災害
- サイバー攻撃
- 重要な情報インフラとネットワークの故障
- グローバルガバナンスの失敗
- 感染症の広がりなど

## CSR基本方針

私たちNTTコミュニケーションズグループは、現在と未来を「つなぐ」パートナーとして、ICTを通じて、グローバル規模で社会の新たな価値創造や社会的課題解決に取り組み、安心で快適・豊かな社会の実現に貢献します。

## 4つのCSR重点領域

### 社会への貢献（Society）

私たちは、社会の持続的発展のため、安定的で信頼性の高いサービスを提供するとともに革新的ICTを開発・提供することで、国内外のさまざまな社会的課題の解決に貢献します。私たちは、社会を支え生活を守る重要なインフラを提供する企業グループとして、災害に強く、サイバーセキュリティ対策を強化した、安心なコミュニケーション環境を提供します。

### 地球環境への貢献（Environment）

私たちは、グループ事業全体にわたって環境負荷を低減し、ICTの利活用による社会全体の環境負荷低減に取り組み、さまざまな地球規模での環境問題の解決に努めます。

### 人材の尊重（People）

私たちは、社員をはじめステークホルダーの皆さまの多様性を尊重し、一人ひとりが活躍できる環境の整備に努めます。また、自らが変革し、自らの限界を超えて成長することにより、豊かな社会作りに貢献します。

### 経営統治の継続的強化（Management）

私たちは、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切にするとともに、高い倫理観と人権意識を持って事業に取り組み、社会の持続的発展に貢献します。

## 私たちの目指す社会

### ICTが導く、すべての人々がつながった社会

- 時間や距離、言語などの制約を意識しない社会
- 常に安全で快適なネットワークが保たれる社会

### 豊かな地球を守り継ぐ、自然と調和した社会

- 低炭素で低負荷、資源循環の仕組みが徹底された社会
- 生物多様性を尊重し、豊かな自然資源を保持した社会

### すべての人が、認めあい、高めあう社会

- 個性と属性、信条の多様さを尊重する社会
- 人材の能力が十二分に発揮できる社会

### ステークホルダーと企業が信頼しあい、共創する社会

- 遵法かつ倫理的な企業行動が徹底された社会
- ステークホルダーとの対話が日々、企業活動に活かされる社会

参照資料：世界経済フォーラム「グローバルリスク報告書2020」

## NTTグループの一員としてSDGsに賛同

2016年度、NTTグループは国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同を表明しました。これを受け、私たちも2016年度よりNTTグループの一員としてSDGsに貢献する取り組みを推進しています。
CSR・SDGs研修などを行い、社内全体でSDGsの理解浸透を深め、SDGsの目標に紐づいたCSR重点活動項目などの事業活動を通じて、SDGsの目標達成に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

NTT Communications Corporation CSR Report 2020
詳細版

CONTENTS

企業理念

トップコミットメント

企業情報

NTTコミュニケーションズのCSR

CSR基本方針
CSRマネジメント
NTTコミュニケーションズのバリューチェーン

社会への貢献

地球環境への貢献

人材の尊重

経営統治の継続的強化



# CSRマネジメント

## NTTコミュニケーションズのCSRマネジメント

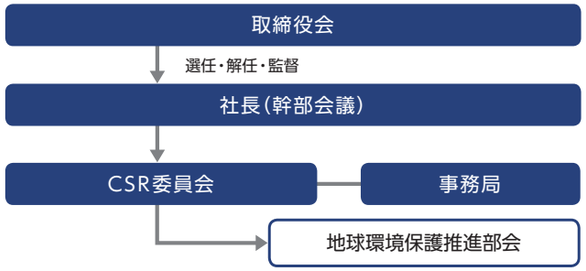
### CSR推進体制

私たちは、CSR活動を推進するために「CSR委員会」を設置しています。委員会はCSR担当役員である常務取締役を責任者と定め、経済的・環境的・社会的な観点からマネジメントを実行する体制を確立することを目指しており、委員会内部には「地球環境保護推進部会」を設けています。

CSR委員会は年1回開催され、CSR活動の取り組み内容の報告を行うとともに、活動の推進に向けた施策の検討・展開を図っており、2019年度は、13社の主要グループ会社も出席しました。また委員会に報告・協議された事項については、社会・環境面での重要なリスク情報なども含め、適宜取締役会へと共有されています。

今後もCSR委員会において継続的に議論を進めることで、NTTコミュニケーションズグループ全体のCSR活動の推進および浸透を図っていきます。

◆ CSR推進体制図



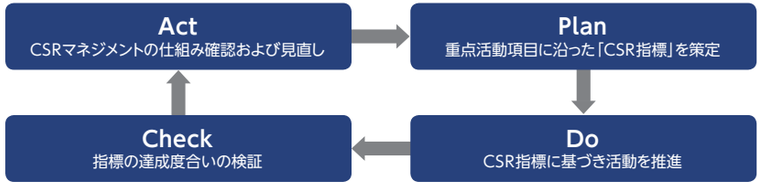

### CSRマネジメントの評価プロセス

私たちは、CSR活動の推進体制を確実に機能させるため、その活動の成果をチェックする仕組みを構築し、継続的に運用しています。具体的には、各年度のCSR重点活動項目の目標として「CSR指標」を定期的に策定。その達成度合いを毎年検証・総括することで、CSRマネジメントの有効性を測っています。

これらのプロセスはCSR委員会で実施され、CSR委員長がCSR指標の成果に責任を持ち、遂行しています。

同委員会では、CSR基本方針および重要課題の再検討、指標の更新など、CSRマネジメントの仕組み自体の確認と見直しを随時実施しています。

◆ CSRマネジメントのPDCAサイクル




2019年度は、新たに策定した「企業理念・信条」に基づき、次期CSR戦略の検討を進めているところであり、2020年度では、事業活動が多様かつ新たな社会的課題やSDGsとの関係をより意識した取り組みを推進していきます。

### マテリアリティの特定プロセス

NTTコミュニケーションズグループではCSR基本方針を確実に浸透・実践する中期的な目標・指針として、重要性分析にもとづく「CSR重点活動項目」を2011年より定め、PDCAを展開しています。CSR重点活動項目は以下のプロセスを経て特定しました。

**Step 1**
**課題の整理**

国連グローバルコンパクトやSDGs、ISO26000、GRIなどの国際的なガイドラインやイニシアチブ、調査会社からの質問テーマなどを参考に、NTTコミュニケーションズグループのバリューチェーンの各段階に

NTT Communications Corporation CSR Report 2020
詳細版

CONTENTS

企業理念

トップコミットメント

企業情報

NTTコミュニケーションズのCSR

CSR基本方針
CSRマネジメント
NTTコミュニケーションズのバリューチェーン

社会への貢献

地球環境への貢献

人材の尊重

経営統治の継続的強化

おいて影響評価を行い、俯瞰したうえで、CSR側面における重要な課題を整理しました。

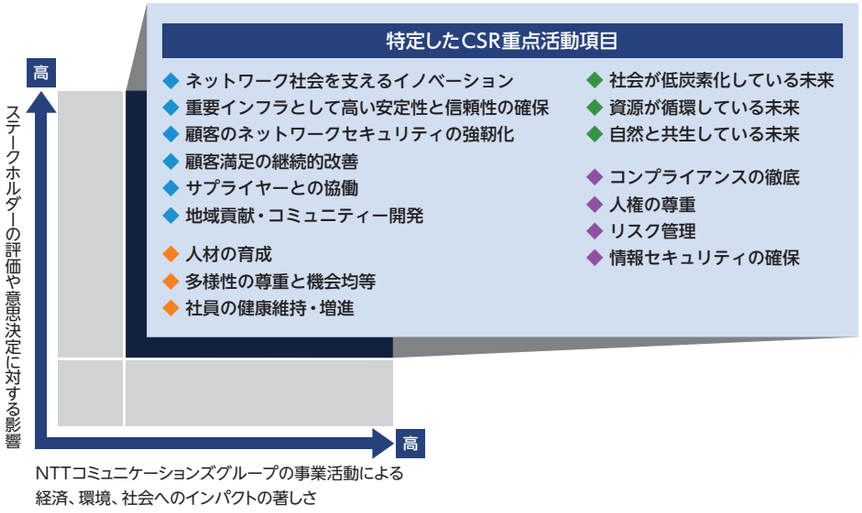
> NTTコミュニケーションズのバリューチェーン P.11

**Step❷ 重要性の評価**

対応すべき課題に対して、「ステークホルダーの評価や意思決定に対する影響」と「NTTコミュニケーションズグループの事業活動による経済、環境、社会へのインパクトの著しさ」の2軸にて評価しました。

**Step❸ マテリアリティの特定**

優先順位付けの結果から、CSR基本方針との整合性を考慮のうえ、NTTコミュニケーションズグループとして取り組んでいく重点活動項目を特定しました。




## 重点活動項目と中期目標

NTTコミュニケーションズグループでは設定した重点活動項目の取り組み施策ごとに、中期目標を設定し、PDCAを推進しています。

> 詳しくは、各活動報告パートの冒頭にある、2019年度の活動実績および2020年度目標の一覧表を参照ください

社会への貢献 P.13　地球環境への貢献 P.32　人材の尊重 P.57　経営統治の継続的強化 P.71

## 社外から経営陣へのアドバイザリー

外部有識者とのダイアログ（2020年1月実施）

グローバルなICTリーディングカンパニーとして、多様なステークホルダーの視点を適切に加味した経営を実現することは重要な責務であると、私たちは考えています。この考えに即し、各役員は、事業を通じた日常的な対話に加え、内外の会合への参加や個別面談などを積極的に行っています。特に事業戦略にサステナビリティの視点を加味するうえでは、内外の専門家・有識者との意見交換が重要であると考え、「経営陣と外部有識者のダイアログ」を継続的に実施しています。

2019年度は、サンメッセ総合研究所の川村雅彦所長をお招きし、CSR委員長とのダイアログを実施しました。同会合では、創立20周年の節目を迎え、SDGsに代表される社会の要請への向き合い方、今後の課題や展望をテーマに、私たちの経営戦略への重要な示唆を数多く頂戴しました。なお、経営陣からサステナビリティ戦略の推進業務を委任されている各部門担当者が継続的に実施している有識者レベルのダイアログについても、その内容を必要に応じ経営陣へとCSR委員会などの場を通じて適宜共有しています。

CONTENTS
企業理念
トップコミットメント
企業情報
NTTコミュニケーションズのCSR
CSR基本方針
CSRマネジメント
NTTコミュニケーションズのバリューチェーン
社会への貢献
地球環境への貢献
人材の尊重
経営統治の継続的強化



## NTTグループとの関係

### NTTグループの一員として

**◆グループ一体でのCSRの推進**

近年、国連総会においてSDGsの採択や、パリ協定の発効など、地球規模での持続可能な社会への取り組みが強く要請されています。こうした背景を踏まえ、NTTグループ各社が一体となってCSRを推進していくための重要な課題(マテリアリティ)である「NTTグループCSR重点活動項目」を見直し、2019年5月に「NTTグループCSR憲章」を改定しました。NTTコミュニケーションズグループでは、この憲章を踏まえ、引き続き、グループ一体となり社会的課題の解決に取り組みます。

◆NTTグループCSR憲章

**◆NTTグループCSR委員会**

NTTグループでは2015年度よりNTTのCSR委員会委員長(代表取締役副社長)を委員長とし、主要グループ8社のCSR最高責任者(副社長、常務取締役)を委員とした「グループCSR委員会」を設立し、グループ全体におけるCSRマネジメントの進展を図っています。

**◆NTTグループCSRカンファレンスへの参加**

NTTグループでは、SDGsを意識してCSRの取り組みに関する理解および促進することを目的として、2013年度より「NTTグループCSRカンファレンス」を開催しています。NTTコミュニケーションズグループは同カンファレンスで2016年度から3年連続で表彰されました。

◆CSRカンファレンスの様子

## 外部との関係

### 外部団体への参加

NTTコミュニケーションズでは外部団体・組織への参加を積極的に行い、情報共有を行うことで、社内の枠組みを超え、社会課題の解決につながる取り組みの共有を図っています。

| | |
|---|---|
| 外部団体への参加状況(主な団体のみ掲載) | ・一般社団法人沖縄オープンラボラトリ(理事)<br>・一般社団法人高度ITアーキテクト育成協議会(理事)<br>・一般社団法人インターネットコンテンツセーフティ協会(ICSA)(理事)<br>・グリーングリッド(The Green Grid)<br>・一般社団法人セキュリティ対策推進協議会(SPREAD) |

NTT Communications Corporation CSR Report 2020
詳細版

CONTENTS
企業理念
トップコミットメント
企業情報
NTTコミュニケーションズのCSR
CSR基本方針
CSRマネジメント
NTTコミュニケーションズのバリューチェーン
社会への貢献
地球環境への貢献
人材の尊重
経営統治の継続的強化



# NTTコミュニケーションズのバリューチェーン

事業活動を通じて正の影響を強化・負の影響を最小化し、SDGsの達成に貢献します。
NTTコミュニケーションズの事業活動が、バリューチェーン全体で社会や環境にどのような影響をもたらすかを把握し、SDGsと照らし合わせて、社会的課題の解決に向けた当社グループの取り組みの範囲と方向性を明確化しました。

4つの重点領域
- 社会への貢献
- 人材の尊重
- 地球環境への貢献
- 経営統治の継続的強化